

## 地上波デジタル放送・中継局用スイッチングユニット

Switching Unit for the Relay Station · The Ground Wave Digital Broadcasting

地上波デジタル放送は情報流通時代のキーとなるインフラ事業として、2003年末の東京・大阪・名古屋の3大都市圏からスタートし2011年には全てデジタル放送に切り変わる予定です。このような新たな市場を生み出すメディアに注目し、全国デジタル送信設備検討会「地上デジタル放送用送信設備共通仕様書」（通称オレンジブック）を基に地上波デジタル放送中継局用の直流スイッチングユニットを開発製品化しました。

また、本ユニットは汎用性を持たせデジタル放送用だけではなく、情報通信機器、電力関連にも使用可能な設計としており、幅広い分野用途にも使用可能です。

### <特長>

- 電源ユニットのラインアップ化  
小容量のユニットをラインアップし、規模に応じた最適システムが構築可能
- 省力化と遠隔監視機能  
遠隔監視機能をオプションで付加可能
- 高信頼性  
並列冗長（N + 1）システムにより高い信頼性を確保
- 高効率・高力率  
入力力率99%以上、ユニット効率90%以上
- 小型・軽量・低価格

表1 ユニット諸元表

ユニット種類	48V-10A	48V-30A	48V-50A
入力電源	1Φ 2W 85～231V 47～63Hz		1Φ 2W 180～231V 47～63Hz
入力力率	遅れ 0.99以上（定格入出力時）		
出力電圧	48V～53.5V		
出力電流	10A	30A	50A
効率	90%以上（定格入出力時）		93%以上（定格入出力時）
冷却方式	強制風冷		
寸法	幅	80mm	130mm
	高さ	141mm	187.5mm
	奥行	240mm	300mm



図1 10Aユニット  
Fig.1 10A unit



図2 30/50Aユニット  
Fig.2 30/50A unit

（産業機器事業部 電源技術部 畠山 寿雄）